

丸亀市市民交流活動センターマルタスの運営について

1. 丸亀市市民交流活動センター管理運営計画 基本方針

センターでは、施設の設置目的、目指す姿を実現するため、以下の視点を基本として管理運営を行っています。

○誰にも心地の良い居場所をつくれます

センターは、様々な境遇の人や目的を持った人が集まる「みんなの施設」として、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、館内の備品や表示、色彩、ルールなどの最適化を図り、利用者の目的に応じた心地良い居場所をつくれます。

○市民の役割・出番をつくれます

センターの各フロアに備えた機能や余裕スペースを活かして、市民自らの企画・運営による事業を推進し、より多くの市民が活躍できる場を設けることにより、市民と行政が一緒に育てる施設を目指します。

○ひとを感じる空間をつくれます

センターは、子ども・学生・大人などの多様な世代や職種の人が集まり、出会い、交流する施設として、自然にひとの存在や活動が視界に入り、お互いが刺激し、共鳴しあうことのできる「見る・見られる」空間をつくれます。

○多様な主体をつなぎます

センターは、市民をはじめ、NPOやコミュニティ、企業、大学などの様々なまちづくりの主体が活躍する舞台となり、そしてそれらが有機的につながることで、さらに交流の輪が広がる施設となることを目指します。

○市民活動の中核的機能を担います

センターは「協創のまちづくりの拠点」となり、市内各所で展開される様々な市民活動や地域づくりのさらなる発展につながるように、「人づくり」や「仕組みづくり」において、その中核的機能を担う施設となることを目指します。

2. マルタスの利用状況

■「交流」…活動や情報の交流

	来館者数（人）	市民活動参加者数(人)	HP アクセス数 (※1 セッション数)	インスタグラム 登録者数(人)
令和2年度 (R3.3.22 開館)	26,324	266	9,482	3,995
令和3年度	575,003	4,532	161,774	5,185
令和4年度	768,328	8,584	187,252	5,818
令和5年度	796,749	10,214	※2 215,242	5,947

※1 セッション数 …HP へ訪問した回数。複数のページを見ても1回とカウント

※2 R5よりグーグルアナリティクス（Webアクセス分析ツール）がUAからGA4に変更

■「活動」…市民活動支援

	市民活動登録(件)	市民活動開催（件）	市民活動相談(件)
令和2年度	※3 43	10	55
令和3年度	173	230	1,129
令和4年度	264	748	705
令和5年度	246	951	801

※3 R3年度分をR2年度中に登録したもの

■支援カウンターでの相談内容

内容の種類	R4 件数	R5 件数
イベント企画に関する相談	310	371
市民活動登録に関する説明	174	179
市民活動登録申請書の受付・確認	59	17
運営に関する相談	63	71
展示企画に関する相談	52	86
チラシ配架に関する相談	13	30
その他の内容の相談	34	47
合 計	705	801

■ 専門家による無料相談

内 容	R4 人数	R5 人数
① 税理士相談	21	19
② 行政書士相談	5	4
③ 弁理士相談	5	2
④ よろず支援拠点	433	489
合 計	464	514

- ・ ①～③は各団体と連携し、毎月 1 回定期的に開催（マルタスが窓口）
- ・ ④「よろず支援拠点」は国が設置した無料の経営相談所。公益財団法人かがわ支援財団が実施しており「中西讃マルタス常設サテライト」として活用。
相談内容は事業計画や経営知識、情報発信に関することなど。

■ 市民活動者を対象とした支援活動

①資金調達や情報発信に関する講座の開催

活動者が、継続して活動するために助成金やクラウドファンディングに関する講座を開催しています。講座では、助成金の採択につながるポイントや記載方法のほか、実際に制度を活用した市民活動団体に体験談を語ってもらうことで、申請への関心が高まりました。



助成金アレコレ座談会～助成金のイロハを知ろう！～
(R5.11.14)



第一回「1 億総メディア時代」の情報発信セミナー
～記者の視点でニュースを見つけよう～ (R5.12.14)

②市民活動相談会

支援カウンターでの相談窓口（予約不要）とは別に市民活動相談会を実施。事前予約制とすることで、より深い相談に対応することができました。

イベントの集客に関する相談や、今後の活動ビジョンについての相談など、約1時間ゆっくりと課題に向き合いながら、整理することも可能です。



③市民活動交流会

毎月テーマを設定して開催。異なった分野の活動者との交流や、様々な手法を取り入れながら今後の活動に役立つノウハウを学べる場。



市民活動カフェトーク会～キッズ＆シニア～(R5.6.26)



市民活動の「未来」を考えてみよう！(R6.1.21)

④ハコカツ

書棚（ハコ）一段を使って活動を広める情報発信。展示としてだけでなく、新しい情報発信について考え、学び、実践することを目的としています。

ハコの中には、①活動者の写真、②活動紹介のチラシ、③活動に関連する本を展示。写真はマルタスの広報スタッフが撮影しますが、チラシは活動者自身が作成したもの。

チラシを作成したことのない方には「CANVA」というソフトを使用しながら、相手に情報が伝わるチラシが作成できるよう支援しています。



■市や県との連携

まちづくりワークショップ「丸亀まちづくりラボ」

第2次協働推進計画の展示

提案型協働事業報告会（地域づくり課）

協働のまちづくりを目指すため、協働を学び、協働が生まれるために必要なこと等を考えるワークショップを共催で開催。また、そこでの意見を第2次協働推進計画に反映させ、計画の周知を目的とした展示を実施。その他、前年度に実施した提案型協働事業の報告会を、マルタス1階のオープンスペースで開催するなど、協働に関する事業を連携して取り組んでいる。

チャレンジデー2023 自分に合った運動を探してみよう！in MARUTASU
（スポーツ推進課 R5.5.31）



健康づくりやスポーツを活動分野としている市民活動者とスポーツ推進課との協働事業。

日常的な運動習慣のきっかけとなるよう、椅子に座ったままできる体操や、ゴムバンドを利用し美姿勢を目指した運動教室、体操やツボ押し等を実施。

イザ！カエルキャラバン！in まるがめ（香川県・NPO 法人プラスアーツ：R5.11.3）



いつ起こるかわからない災害に備え、起きた時に協力して助け合いができる方法を学ぶ防災イベント。

阪神・淡路大震災の教訓・知恵を次の世代へ伝えるために生まれたプログラムで、水消火器で的あてゲーム、毛布で担架タイムトライアルなど、防災訓練に「体験する楽しさ」が加わり、家族で楽しみながら学ぶことができました。

NPO・ボランティアのためのお悩み相談会（香川県：R5.10.18・R6.1.23）



特定非営利活動法人岡山 NPO センターの NPO 事務支援センター所長が対応する相談会。

直接書類等を見せながら相談できるため、NPO 法人会計事務など具体的な相談にも対応。

■ 高校生の自主活動に対する支援

高校生自身が考え「自分たちができること」を実行するための支援をしています。

○丸亀大文化祭実行委員会

令和5年3月に四国サポーターズクラブが行った「まるがめ地域活性化プランコンテスト」で最優秀賞を獲得した「丸亀大文化祭」の実現にむけた取り組み。高校生と地域の人々が交流する場をつくることを目的に、当初12人の準備委員会メンバーは学校の垣根を越えて約50人まで増え、地域の大人を巻き込みながら今年6月8日に開催。



○まるがめ高校生ボランティア部

丸亀市社会福祉協議会が市内の高校生を対象に令和5年6月に第1期が発足。今年度は名称を「高校生ボランティア部 in まるがめ」に変更し2年目が始動。

個々のボランティア活動に加え、高校生や大学生の社会貢献活動を顕彰する「まるがめ学生ボランティアアワード」を開催。マルタスは定例会への出席のほか、ボランティアアワードを共催で開催し、企画・運営等に参加。



■ マルタス 3 周年記念祭 MARUTASU F E S T I V A L

「つながる」をテーマに、「人與人」、「思いと思い」がつながるように、市民活動者と一緒に実施した記念祭。27 の市民活動団体等が参加し、ワークショップや展示などを通じて、様々な活動に出会える 1 日となりました。(R6.3.23)

